

青森県に立地する核燃料サイクル関連施設

- (1) 国及び電気事業者は、これまで30年にわたり、青森県の理解と協力の下、青森県内に核燃料サイクル施設の建設を進めてきた(六ヶ所再処理工場、むつ中間貯蔵施設等)。
- (2) こうした青森県との関係を引き続き尊重し、十分な理解と協力を得て政策を進めることが必要。

大間原子力発電所建設地
(電源開発株)【建設中】

原子力規制委員会へ申請中(2014年12月申請)
※2023年後半に工事終了予定

使用済燃料中間貯蔵施設
建設地(リサイクル燃料貯蔵株)

原子力規制委員会へ申請中
(2014年1月申請)



2010年 工事開始
2018年後半 事業開始予定

ウラン濃縮工場



1988年 工事開始
1992年 操業開始

MOX燃料加工工場
(予定図)

原子力規制委員会へ申請中
(2014年1月申請)



2010年 工事開始
2019年度上期 竣工予定

核燃料サイクル施設(日本原燃株)

再処理工場

原子力規制委員会へ申請中
(2014年1月申請)



1993年 工事開始
2018年度上期 竣工予定

低レベル放射性廃棄物
埋設センター

原子力発電所で発電中に発生した
低レベル放射性廃棄物を、浅い地
中に埋めて処分(ピット処分)



1990年 工事開始
1992年 埋設開始

高レベル放射性廃棄物
貯蔵管理センター

現在は、海外から返
還されたガラス固化
体を保管



1992年 工事開始
1995年 操業開始

※ウラン濃縮工場、高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センターについては、原子力規制委員会へ申請中であるものの、経過措置により、操業中。

2016年9月現在

